

令和5年1月12日
 千葉県健康福祉部疾病対策課
 043-223-2574

感染症予防のための情報提供について

病名	レジオネラ症																				
住所	鎌ヶ谷市	年齢・性別	77歳・男性																		
職業	無職	症状等	発熱																		
発病年月日	令和4年12月1日	届出年月日	令和4年12月2日																		
<p>令和4年11月28日に松戸市内の医療機関に入院し、12月2日に松戸保健所に発生の届出があった患者が、同年12月23日に医療機関で死亡した。</p> <p>〔患者発生の経過〕</p> <p>11月28日 自宅風呂で溺れているところ発見され、松戸市内医療機関に救急搬送され入院。意識なし。気管内挿管、呼吸器装着。</p> <p>12月 1日 発熱。</p> <p>12月 2日 同医療機関で検査の結果、「レジオネラ症」と診断され、抗生剤投与。松戸保健所に患者発生の届出。</p> <p>12月23日 急性呼吸窮迫症候群により死亡。 間接的死因：レジオネラ症</p> <p>〔調査事項〕</p> <p>自宅が鎌ヶ谷市であることから、習志野保健所が12月8日に調査を実施したが、感染源・感染経路等、原因の特定には至らなかった。</p> <p>〔県内の発生状況（レジオネラ症）〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>届出数</th> <th>H30年</th> <th>H31・R1年</th> <th>R2年</th> <th>R3年</th> <th>R4年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>千葉県</td> <td>101</td> <td>101</td> <td>97</td> <td>84</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>2,142</td> <td>2,314</td> <td>2,059</td> <td>2,112</td> <td>2,085</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和4年の全国分は12月18日現在。令和5年千葉県は発生なし。</p>				届出数	H30年	H31・R1年	R2年	R3年	R4年	千葉県	101	101	97	84	86	全国	2,142	2,314	2,059	2,112	2,085
届出数	H30年	H31・R1年	R2年	R3年	R4年																
千葉県	101	101	97	84	86																
全国	2,142	2,314	2,059	2,112	2,085																
<p>（県民の皆様へ）</p> <ul style="list-style-type: none"> レジオネラ症の感染源となりうる冷却塔、循環式浴槽（24時間風呂・温泉利用施設・ジャグジー等）、循環式給湯、加湿器（超音波加湿器）の衛生的な管理を行い、菌の増殖を防止しましょう。 適切な抗菌薬の投与により治療可能ですが、治療が遅れると重症化し、死亡することもあります。有症状の場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。特に、重喫煙者、透析患者、糖尿病等の患者はリスクが高いとされていますのでご注意ください。 																					

【参考】

レジオネラ症とは

レジオネラ属菌による細菌感染症で、その病型は劇症型の肺炎と一過性のポンティアック熱がある

1 感染経路

- 土壌、冷却塔水、プール、池、噴水、温泉水、24時間風呂に分布する病原体のエアロゾル吸入、誤嚥による経気管、気管支的感染
- 人から人への感染はない

2 病原体

- レジオネラ属菌、特にレジオネラ・ニューモフィラによることが多い

3 潜伏期間

- レジオネラ肺炎の場合、2～10日（平均4～5日）
- ポンティアック熱の場合、1～2日（平均38時間）

4 症状

- レジオネラ肺炎の場合、発熱、咳、喀痰、呼吸困難等
- ポンティアック熱の場合、発熱、咳、筋肉痛、頭痛
（呼吸器症状は軽微）

5 治療

- レジオネラ肺炎の場合、抗菌薬療法
- ポンティアック熱の場合、対症療法、抗菌薬療法は不要